



題目	そう 総	ごう 合
----	---------	---------

- ※ 問題用紙は、(その1)から(その3)までありますから、注意してください。
- ※ 答えは、別紙の解答らん<sup>べつし かいとう</sup>に書き入れなさい。

1  
14

次の問いに答えなさい。

問1 家畜<sup>かちく</sup>を飼<sup>か</sup>って、肉・牛乳<sup>ぎゅうにゅう</sup>・たまごなどを生産<sup>せい</sup>する農業<sup>さん</sup>を何と<sup>なん</sup>いいますか。

問2 右のグラフの<sup>ア</sup>～<sup>ウ</sup>は、牛、ぶた、にわたりの出荷<sup>しゅつ</sup>された肉<sup>か</sup>の量<sup>りょう</sup>を示<sup>しめ</sup>しています。このうち、牛を示しているものをグラフから選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

問3 ブランド牛のうち、松阪牛<sup>まつさか</sup>がつくられている県<sup>けん</sup>を次から選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

ア 三重県<sup>みえけん</sup>      イ 山形県<sup>やまがたけん</sup>      ウ 兵庫県<sup>ひょうごけん</sup>

問4 右の地図で色がぬってあるところは、ある家畜<sup>しいうすう</sup>の飼育数<sup>しいうすう</sup>が全国<sup>ぜんこく</sup>1～3位<sup>い</sup>である都道府県<sup>とどうふけん</sup>です。この家畜として正しくないものを次から選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

ア 肉牛<sup>にくぎゅう</sup>      イ 乳牛<sup>にゅうぎゅう</sup>      ウ ぶた

問5 食べ物などの商品<sup>しょうひ</sup>がいつ、どこで生産<sup>せい</sup>され、どのようにして消費者<sup>しょうひしや</sup>まで届<sup>とど</sup>いたのかを調べる<sup>しら</sup>べることができるしくみを何と<sup>なん</sup>いいますか。次から選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

ア コールドシステム      イ ドローン  
ウ トレーサビリティ      エ コンバイン

問6 家畜<sup>しいう</sup>を飼育<sup>しいう</sup>する農家<sup>しいう</sup>について、次の問いに答えなさい。

1 家畜を飼育する農家がかかえる問題<sup>もんだい</sup>について述べた次の文の **A** にあてはまることばを下のア・イから、**B** にあてはまることばを下のウ・エからそれぞれ選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

家畜を飼育する農家の数は、働く人の年齢<sup>ねんれい</sup>が **A** になって後<sup>のち</sup>つぎが不足<sup>ふそく</sup>していること、また、値段<sup>ねだん</sup>が **B** 輸入肉<sup>ゆにゅうにく</sup>との競争<sup>きょうそう</sup>がきびしいことなどから減少<sup>げんしょう</sup>しています。

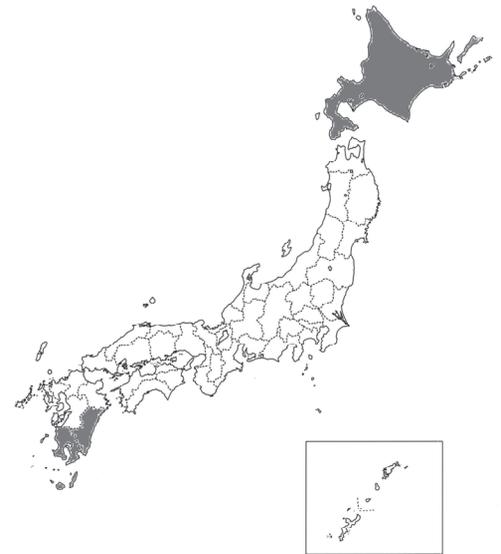
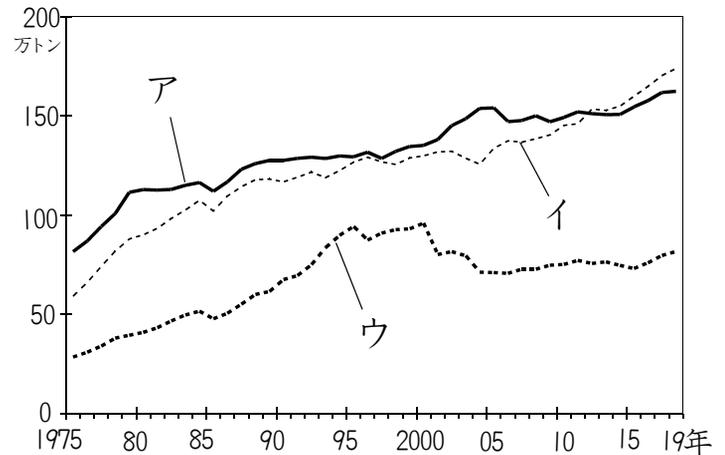
ア 高く      イ 低く      ウ 高い      エ 安い

2 家畜の飼育について述べた文として正しくないものを次から選<sup>えら</sup>んで、記号<sup>きごう</sup>で答えなさい。

ア にわたりが他の動物<sup>けいしや</sup>からおそわれないように、鶏舎<sup>けいしや</sup>の周り<sup>まわ</sup>を電気が流<sup>なが</sup>れる柵<sup>さく</sup>で囲<sup>かこ</sup>むことがあります。

イ 牛の世話<sup>ひつよう</sup>には多くの人が必要<sup>ひつよう</sup>なので、だれでも自由<sup>じゆう</sup>に牛舎<sup>ぎゅうしや</sup>に入れるようにしています。

ウ 休み<sup>やすみ</sup>をとりにくい酪農<sup>らくのう</sup>農家<sup>のうか</sup>に代<sup>か</sup>わって乳牛<sup>にゅう</sup>の世話<sup>世話</sup>をする、酪農ヘルパー<sup>らくのうヘルパー</sup>がいます。





3 18 3 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

先 生：今日は、①稲、麦、とうもろこし、豆など、人間がその種や実を食べる植物について学びましょう。米は②秋田平野、③越後平野、④石狩平野などでさかんに生産されています。1970年ごろから50年ほど生産調整（減反政策）がすすめられ、米のかわりに⑤大豆や野菜などを栽培する **A** が行われました。今でも、水田が広がるなかに大豆畑が見られるところがあります。

四谷さん：では、日本で食べられている大豆のほとんどは国産なのですか？

先 生：いいえ。小麦や、飼料となるとうもろこしと同じように、⑥必要な量の多くが輸入されています。一方、いも類は国内の生産でまかなえる割合が高くなっています。

四谷さん：いも類とは、じゃがいもや⑦さつまいもなどですね。

先 生：そうです。いも類や⑧工芸作物についても、くわしく勉強していきましょう。

問1 **A** にあてはまることばを答えなさい。

問2 下線①を何といいますか。

問3 下線②について、右のグラフに示した地方ごとの米の生産割合のうち、秋田平野のある東北地方を示しているものを選んで、記号で答えなさい。

						四国 3	
ア	イ	ウ	九州	近畿	工	中国	
29%	21	16	9	8	8	6	
(2020年)							

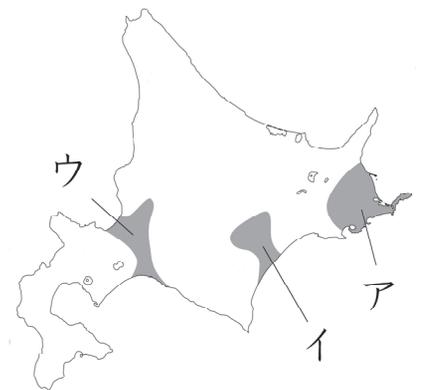
問4 下線③について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア この平野は太平洋に面しています。
- イ この平野がある都道府県は、コシヒカリという品種の生産で知られています。
- ウ この平野がある都道府県は、米の生産量が全国3位です。

問5 下線④の位置を右の地図から選んで、記号で答えなさい。

問6 下線⑤をおもな原料としてつくられるものとして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア きな粉
- イ とうふ
- ウ みそ
- エ 片栗粉



問7 下線⑥について、日本が大豆や小麦、とうもろこしを多く輸入している相手先の国を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 中国
- イ アメリカ
- ウ タイ

問8 下線⑦の生産量が最も多い都道府県を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 鹿児島県
- イ 北海道
- ウ 茨城県

問9 下線⑧について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 工芸作物とは、工場などで、食品をはじめとするいろいろな製品に加工される作物のことです。
- イ さとうきびやてんさいは砂糖の原料となります。
- ウ 茶は静岡県でさかんに栽培されています。
- エ たたみ表に加工されるいぐさは、群馬県の特産物として知られています。